

中間考査も終了し、18日には避難訓練も両バージョンで実施。中間考査中には1年普通科の保護者の皆様に類型選択の話をしていただきました。進路実現に向けた第一歩ですので、生徒としっかり話をさせていただき類型を決めていただきますようお願い申し上げます。お忙しい中、来校いただきありがとうございます。

また、20日の新聞発表をご覧になったことと存じますが、県下で唯一、来年度入学生の普通科のクラス定員が1クラス増になりました。2.3年生のクラス数に戻る形です。県下全体では13クラス減となっているところですが、北播の中学生が昨年より多かったことと9月の希望調査で定員を大きく上回っていたことで元に戻る形となったようです。多くの中学生に関心を持っていただいたおかげと感謝しております。11月にもオープンハイスクールを実施します。まだまだ社高校を見てみたいと思う方は是非来校して確認してみてください。今回の決定に取れないような取組ができるよう職員一同頑張っていますので、よろしくお願いいたします。



さて、中間考査中から日本ユース陸上競技大会に出場していた陸上競技部ですが、3年吉田選手が棒高跳8位入賞、2年梅野選手が三段跳8位入賞、そして2年武政選手が走高跳で自己新となる2m05を跳び3位入賞を果たしてくれました。梅野選手は18日神戸新聞の朝刊で加西市から「さわやか市民賞」受賞の取材を受けた

記事が掲載されており、注目されただけに全国で入賞できたことは来年につながるでしょう。武政選手も最後に自己新。来年が楽しみになってきました。力を出し切れなかった選手もいたようですが、悔しさを持って冬季練習に臨んでください。さらに、19日にはサッカー部が全国高校選手権の県予選に臨みました。尼崎双星高校と対戦したのですが、前半早い段階で相手にPKを決められ1点ビハインドで試合が進行。攻守がうまくみ合わない中、時間だけが過ぎ敗色が濃くなってきた後半ラスト10分に右サイドから崩し、同点。さらにその2分後同じところからの崩しが決まり、逆転に成功。そのまま逃げ切り1回戦を突破。相手の集中が切れた瞬間をうまくついた攻撃がはまりました。翌20日には2回戦で淡路三原高校と対戦し、突破。ベスト16となり、26日に県総体優勝の三田学園との一戦を迎えることになりました。最後まで諦めない姿勢で強豪相手に力を出し切ってぶつかってください。健闘を祈ります。

私は、18日には全県校長会があり出張。会長挨拶から教育次長講話、各委員会報告及び協議と1日盛りだくさんの内容でした。西田教育次長の話では、①30歳になったときのことをイメージして育てる②「つながる」ためにコミュニケーションをしっかりとる③「ノーの理屈よりイエスの知恵を出す」④「自立するとは他者との相互依存ができる、困った時に仲間が来てくれるネットワークを作ること」ということを話されました。いずれも大事なことで、新学習指導要領で取り上げられる探究学習については課題解決する能力を身につけなければならないのですが、最初からできないと思うのではなくどうすればできるようになるのか、完全な解決でなくても最善の答え、納得できる内容を導くことでそういった力をつけることができると思われるという内容でした。またそのためには一人でできないことも多いので、コミュニケーションの取り方や仲間づくり等生きていくうえで必要なことを改めて伝えられたように思います。今一度私たちが大事にしなければならないことを再確認させていただきました。委員会報告では私も学警連携について研修したことを報告しました。警察といえば取り締まられるイメージが大きいのですが、相談機関として有効に活用させていただき、SNS対応や薬物、問題行動など学校とは違った生徒を守る立場で支援をいただく必要があります。特にインターネットの普及による部分については私たちも理解できていないこともあるので、研修を積み、生徒理解に努めなければなりません。校長先生方との情報交換で他校の状況もわかり、とても参考となる総会でした。



さらに21日には全国校長会生徒指導部会にも兵庫県委員長として参加させていただきました。全国の動向や各地域の取組内容を聞くことができました。人材育成や少子化対策などの県でも課題となっていることは同じで、参考になることも多かったです。東京では20日のラグビー日本戦の応援に向かう人を多く見かけ、皇居周辺では22日の皇室行事に伴う警備にあたる全国から集結した警察官も多く見かける等周りの慌ただしさや人の多さに驚きながら帰ってきました。学校を留守にする機会も多く、申し訳なさもある反面、勉強する機会を与えていただいていることに感謝しつつ皆様に還元できるよう努めてまいりたいと思います。